

# 社会福祉法人よるべ会 平成30年度事業報告の概要

次世代のよるべ会に向かって、新しい事業の創造と人材の育成を重ねてきた1年

## 【1】新たな取り組み・新規事業等について

### ① 児童発達支援事業所「どーむ」新規開設

児童発達支援事業を行う新棟建設のため小田原市・神奈川県との調整を行い、建設準備を進めました。平成30年11月5日に「入札委員会」立会のもとに5社参加の入札が行われ、施行業者が決定しました。平成31年3月22日に工事は完了となり、児童発達支援事業所「どーむ」が平成31年4月1日から開所の運びとなっています。

### ② グループホームの新規開設「わたくも」

「梅香園」の新しいグループホーム「わたくも」が平成30年8月に開所しました。ワンルームタイプで個々の部屋に入浴設備やキッチンを整え、自由度の高い暮らしが可能となっています。小田原市福祉課課長、地域自治会役員、保護者会役員の皆様をお招きしての開所式が行われています。

### ③ グループホームの新規開設「ラバ・ゆりが丘」

「かめりあホーム」の新しいグループホーム「ラバ・ゆりが丘」の開設が進みました。当初の開設予定より2ヶ月ほど遅延が生じましたが「地域住民説明会」や既存のホームの見学会などを重ねて、地域の方々の温かいご理解と見守りをいただくことができました。令和元年5月に工事完了し、6月から開所となっています。

### ④ 「執行責任者会」の設置

新たに「執行責任者会」を設置し、法人、各事業所における重点課題の整理、事業実施に向けての検討・協議を重ねる有効な場となっています。

## 【2】年間計画の進捗状況

### ① 権利擁護の確立

毎月、各事業所においてISO品質委員会での確認・検証・改善を行ってきました。

## ② 管理運営体制の強化

「執行委員会」「執行責任者会」「運営会議」「ISO品質委員会」等を毎月開催し、事業・予算・運営状況・サービス提供状況・新規計画等を様々な視点から検証・討議を行いました。また厨房業者の定期的見直しを行い、「よるべ沼代」での給食提供業者が変わりました。31年度は「コスタ二宮」と「梅香園」の見直しを予定しています。

## ③ 人材育成

新任職員研修、チューター制度の改善。また各事業所におけるリーダーの養成を目指し「階層別研修」を実施しました。平成30年9月29日には桜美林大学より谷内孝行先生をお招きし、「実践現場における記録の書き方」を主題に研修を実施しました。

## ④ 地域社会との連携

地域のお花見会や企業イベント、バザー、防災フェスティバルなどに参加しています。また各施設の夏祭り、秋祭りなどでも地域の方をお招きして、開かれたイベントを目指しています。

## ⑤ 労務管理の改善

勤務時間を7時間45分から8時間00分に変更し、年間休日日数を106日から115日に増やしています。また事業所限定職員の給与を改善し、令和元年度から実施しています。

## 【3】職員状況

年度末在籍職員141名

## 【4】各事業所の設置経営

## 【5】理事会・評議員会等の開催

## 【6】その他主な委員会・会議等の実施

①執行委員会 計12回 ②執行責任者会 計12回 ③運営会議 計12回 ④品質委員会 計12回 ⑤職員全体会議 計6回 ⑥ISO内部監査 のべ6日 ⑦ISO維持審査 のべ2日 ⑧よるべ会保護者会 4回 ⑨梅香園みのり会 各月 その他神奈川労働局職業安定部監査、JSYネット等

## 【7】広報活動事業

広報誌「瓦版よるべ」を年2回発行する。その他ホームページ等にて情報公開を行う。

【 8 】 借入金償還状況 平成 31 年 3 月 3 1 日現在

借入先	29 年度末 借入金（残高）	30 年度償還額	30 年度借入額	30 年度末借入金 残高
独立行政法人福 祉医療機構	220,120,000	18,484,000	0	201,636,000
神奈川県社会福 祉協議会	63,632,000	5,177,000	0	58,455,000
合計	283,752,000	23,661,000	0	260,091,000